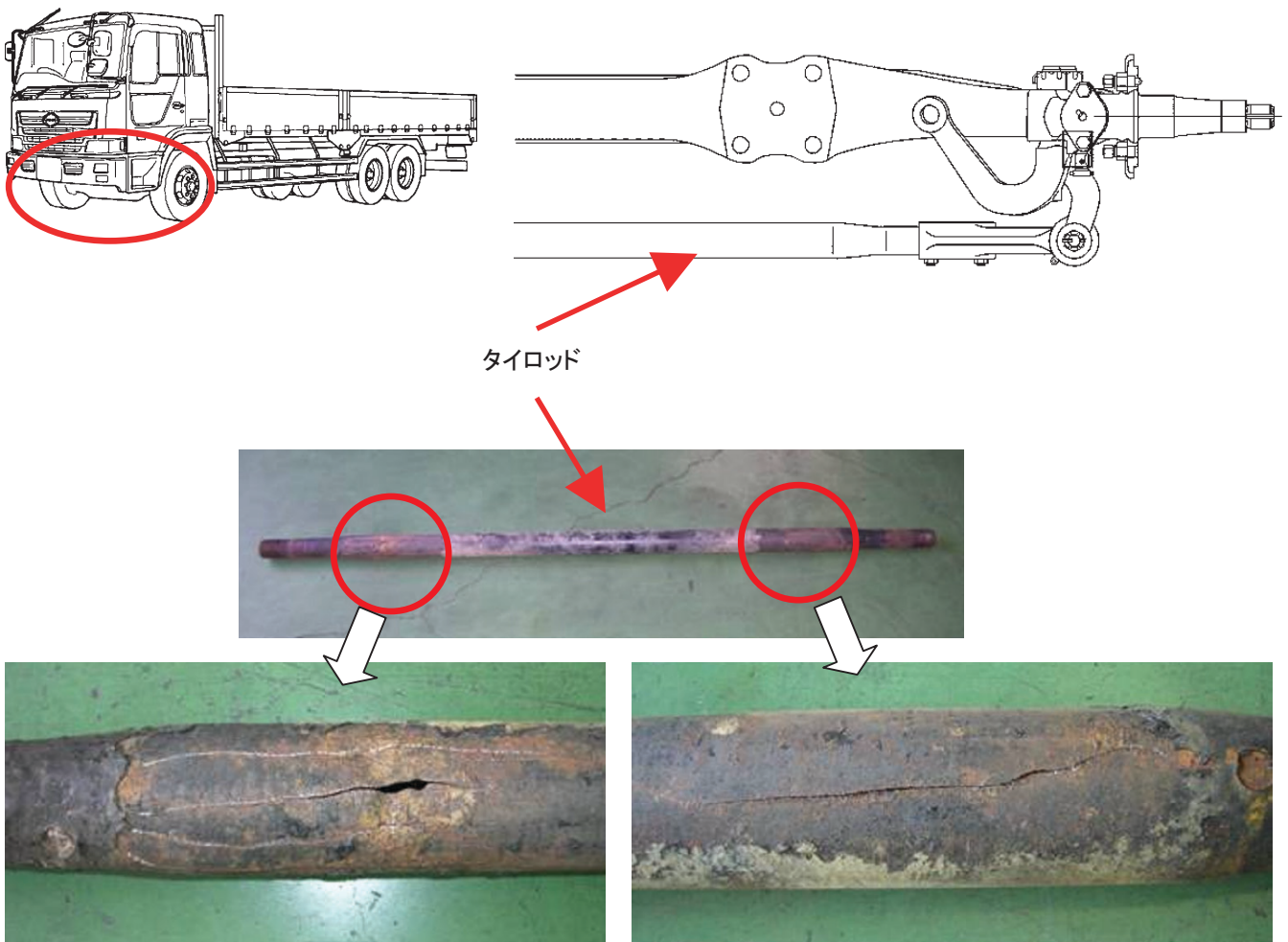




テクニカル・メッセージ

長期間使用車のタイロッドのメンテナンスについて

日野自動車の大型トラックの10年経過した車両で、フロントサスペンションのタイロッドの腐食損傷に起因する不具合の発生事例がありましたので、点検・整備（交換）をより確実に実施して頂くために、それらの点検方法及び整備（交換）時の注意点をまとめましたのでご連絡いたします。



【対象車両】

大型トラック全車及びGK、FG車。特に10年経過車及び融雪塩散布地域で稼働する車両。

【定期点検・交換基準】

● 3ヶ月毎及び12ヶ月毎の定期点検

- ① タイロッド及びアーム類の緩み、ガタ、損傷。
- ② タイロッドに前ページ写真の様な亀裂、やつれ、塗装剥がれ等がある場合は交換願います。
(整備詳細については整備解説書をご覧ください)
- ③ ボルト締付けトルク 100±14. 5Nm [1050±150kgfcm]

タイロッド品番	(参考)				排ガス記号、車型		
	ボルト類	個/台	タイロッドエンド左	個/台		タイロッドエンド右	個/台
S45461-2020	9012-12551	4	45430-2130	1	45420-2150	1	U付大型車
S45461-2110	9290-12360	4	45430-2321	1	45420-2321	1	KC付大型車
S45461-2170	9201-12100	4	45430-2321	1	45420-2321	1	KL付大型車以降
S45461-2410			45430-2750	1	45420-2750	1	GK車、FG車

【防錆のための定期的なメンテナンスについて】

融雪剤の散布量の増加による錆環境の悪化から、定期的なメンテナンスをお願い致します。

	メンテナンス作業	部 位	点検期間					
			3ヶ月	6ヶ月	1年	2年	5年	10年
1	洗車	●ボデー全体 ●シャシ全体	厳寒時を除き、運行後毎日実施					
2	可動部、摺動部は定期的に関閉し、グリスを塗布する	●ドア及びドアヒンジ、ドアロック ●蓋のヒンジ及びロック	○					
3	水や泥を除去後、錆発生部の錆はワイヤーブラシなどで落とし、防錆塗装または防錆ワックスを塗布する	●タイヤ周辺のフレーム、クロスメンバー ●床根太、床板 ●側外板 ●スカート柱とタイロッド ●フロントステップ廻り ●燃料タンク ●エアタンク ●パイプ類(PS、ブレーキ)		○~○				
4	床下全面に防錆塗装を施工	●シャシ全体 床下面の骨格、フレーム、外板内面、バゲージ下面等			○			
5	10年経過車両は床下、足回りのリフレッシュを推奨します							
	足廻りでタイヤスプラッシュの直撃を受ける部品をリフレッシュ 水や泥が内部に溜まり易い部品をリフレッシュ 錆によるヤツレがある部品を交換	●走行装置 ●Frサスペンション廻り ●Rrサスペンション廻り ●パイプ類 ●制動装置						◎